



1



2



3



4



5



6

1短編無声アニメーション「つみきのいえ」の映像に合わせた生演奏 2木造新校舎ホールで臨場感が抜群（金岳小） 3名曲の観賞 4楽器の特徴紹介 56ハンドベルを使って共演

「ほんもの」の音楽に触れる 森の五重奏団が生演奏

10月20日に金岳小中学校、10月23日に小瀬田小学校で、プロの音楽家グループ「森の五重奏団（木管五重奏）」による演奏会が開催されました。

これは、文化庁の芸術家派遣事業を活用して行われたもので、はじめは6月に訪れる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し延期となっていました。

その延期を活かし、全国でも先進的な取り組みとなる両校と東京をインターネットでつなぐ、リモートでの演奏会を7月に開催し、今回の生演奏に繋げる2部編成のプログラムに変更して開催されました。

「リモートだと音は大きくなかったけど、生は迫力がすごかった」「音色がとても綺麗でやってみたくて思った」と楽しそうに話す子どもたち。普段プロの音楽家の演奏になじみのない子どもたちにとって、とても貴重な体験となりました。

Interview

子どもたちは、7月にモニター越しの演奏を聴いていたので、今回の生演奏を聴いて2つを比較できたからこそ、生演奏の良さをすごく実感できたと思います。リモート演奏会と生演奏会を繋げて行えたことがとても良く、町教育委員会と両校の先生方のご協力により、ICT教育を活用した先進的で、テレワークが活きる素晴らしい演奏会にすることができました。

森の五重奏団 主宰者 大藤 豪一 さん



みんなで綺麗に 口永良部島で海岸清掃



10月17日、口永良部島の西之浜海岸で、毎年恒例の海岸清掃が行われました。

この日は肌寒く、時折強い雨が降る中、島民の半数以上となる58人が参加。屋久島からも環境省職員と屋久島国立公園パークボランティアの会員12人が参加し、漂着したゴミを集めました。

西之浜海岸には、毎年国内外から多くのゴミが漂着しており、大型のプラスチックからペットボトルのキャップまで大小様々。中には複雑に絡まった漁網や注射器の針などの危険物もあり、力仕事から細かい作業までの大変な作業となりましたが、約4時間の海岸清掃で、見違えるほど綺麗な海岸にもどりました。

※この海岸清掃は、環境省のマリンワーカー事業を活用して行われています。